

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	年金記録問題対策の実施に必要な経費	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	年金局	担当課室	事業企画課	事業企画課長 宮本		
会計区分	年金特別会計業務勘定	上位政策	年金記録問題対策の実施に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「年金記録に対する信頼の回復と新たな年金記録管理体制の確立について」(平成19年7月5日政府・与党合意)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	年金記録の管理等に対する国民の皆様の不信感を払拭し信頼を回復するため					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「年金記録に対する信頼の回復と新たな年金記録管理体制の確立について」(平成19年7月5日政府・与党合意)に基づき対策を実施している。 平成21年度には、コンピュータの記録と紙台帳等との突合せを計画的・効率的に実施するため、紙台帳の電子画像データ検索システムの構築などの準備を進める。また、標準報酬等遡及訂正事案に対応するため、標準報酬等のお知らせを厚生年金受給者へ送付し、ご本人に記録を確認していただくなどの対策を進める。					
実施状況	「年金記録に対する信頼の回復と新たな年金記録管理体制の確立について」(平成19年7月5日政府・与党合意)に基づき、引き続き徹底的かつ迅速に対策を進める。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	20,052	50,227	58,984	10,978	11,038
	執行額	-	-	46,600		
	執行率	-	-	63%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	当該支出は、年金記録問題の解決のために支出されるものである。				
	見直しの余地	引き続き、年金記録問題の解決に向けて的確な実施を行う。				
予算チームの監視・効率化の所見	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 年金記録問題対策の必要性は認められるため、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

厚生労働省
(30,728百万円)

(国民年金被保険者名簿の電子画像化及び索引データ作成等)



(株)ムサシ	7,025百万円
バンクテック・ジャパン(株)	2,302百万円
(株)マイクロフィッシュ	1,457百万円
東京ソフト(株)	784百万円
(株)もしもしホットライン	402百万円

厚生労働省
(1,774百万円)

(各種帳票等の発送)



郵便事業(株)	1,672百万円
---------	----------

厚生労働省
(6,980百万円)

(年金情報総合管理・照合システムの開発等)



(株)日立製作所	6,623百万円
(株)エヌティティデータ	342百万円
(株)寿限無	15百万円

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)ムサン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	国民年金被保険者名簿の電子画像化及び索引データ作成委託	7,025			
計		7,025	計		0
B.郵便事業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
郵送費	各種帳票等の送付	1,672			
計		1,672	計		0
C.(株)日立製作所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	年金情報総合管理・照合システムの開発等	6,623			
計		6,623	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0